



島根県水産技術センター

令和8年10月28日発行

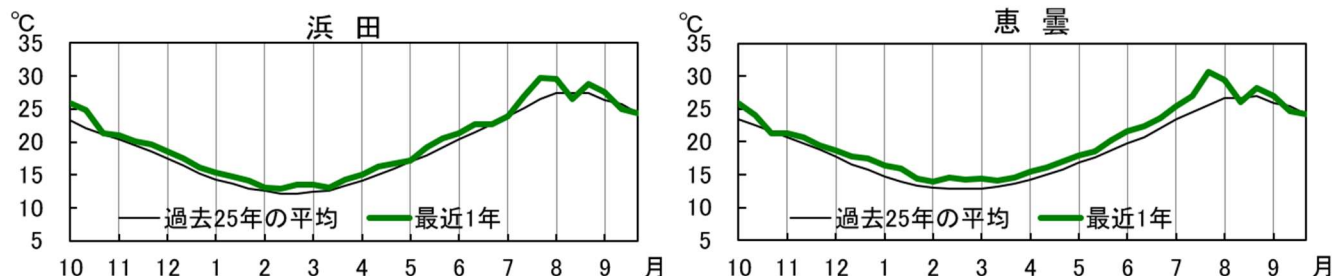
トビウオ通信 漁況速報 (10月号)

(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《9月の海況》



9月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	25.6℃	+0.1℃	やや高め	25.3℃	+0.1℃
中旬	平年並み			平年並み		
下旬	平年並み			平年並み		



《9月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量は、マアジは平年の6割、前年の1.9倍、サバ類は平年の2割、前年の4.6倍でした。隠岐地区ではマイワシ、ウルメイワシ、カタクチイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は109トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、マイワシは8,075トンで平年の2.4倍、前年の4.4倍、ウルメイワシは1,780トンで平年の2.0倍、前年の3.4倍、カタクチイワシは1,624トンで平年の2.3倍、前年の101倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の86%）が主体で、1隻1航海当りの漁獲量は367kgで平年を上回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではケンサキイカ（全体の91%）が主体で、1隻1航海当りの漁獲量は198kgで平年を上回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アカムツ、マダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は11.5トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の1.8倍、アカムツは平年の1.0倍、マダイは平年の2.1倍でした。その他、ソウハチは平年の1.6倍、ヤナギムシガレイは平年の1.5倍、ケンサキイカは平年の1.4倍と好調でしたが、マアジは平年の9割、アンコウ類は平年の8割、マトウダイは平年の6割、ムシガレイは平年の4割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではヤリイカ、マトウダイ、アカムツ主体の漁況で、総漁獲量は152トンでした。1統1航海当りの漁獲量は669kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ヤリイカおよびマトウダイは平年の1.1倍、アカムツは平年の9割でした。その他、マダイは平年の9割、ムシガレイは平年の7割、ホウボウは平年の6割、アナゴ・ハモ類は平年の5割、キダイおよびニギスは平年の4割、アンコウ類は平年の3割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、サバ類、カンパチ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は19.0トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、サワラ類は平年の4割、サバ類は平年の8割、カンパチは平年の4.0倍でした。石見地区ではマアジ、サバ類、カンパチ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は13.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、マアジは平年の2.5倍、サバ類は平年の5割、カンパチは平年の1.3倍でした。隠岐地区ではヒラマサ、マイワシ、カンパチ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は19.7トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ヒラマサは平年の6.6倍、マイワシおよびカンパチは平年の3.3倍でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、アマダイ類、マダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は22.4kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の1.0倍、アマダイ類は平年の1.3倍、マダイは平年の1.4倍でした。石見地区ではケンサキイカ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.6kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の1.0倍、ヒラマサは平年の8割でした。隠岐地区ではケンサキイカ、マダイ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は27.3kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカおよびマダイは平年の2.2倍、カサゴ・メバル類は平年の7割でした。

【令和 8 年 9 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、ウルメイワシ、カタクチイワシ	11,511トン	309%	180%	109トン	314%	207%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	41.9トン	160%	272%	367kg	100%	190%
	西郷	ケンサキイカ	2.4トン	451%	83%	198kg	188%	245%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アカムツ、マダイ	196トン	125%	110%	11.5トン	96%	99%
小型 底びき網	大田	ヤリイカ、マトウダイ、アカムツ	152トン	68%	59%	669kg	77%	86%
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、サバ類、カンパチ	247トン	115%	71%	19.0トン	115%	67%
	石見	マアジ、サバ類、カンパチ	54.4トン	91%	89%	13.6トン	91%	70%
	隠岐	ヒラマサ、マイワシ、カンパチ	39.4トン	291%	259%	19.7トン	291%	356%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、アマダイ類、マダイ	22.2トン	85%	95%	22.4kg	88%	104%
	石見	ケンサキイカ、ヒラマサ	16.9トン	98%	81%	18.6kg	92%	95%
	隠岐	ケンサキイカ、マダイ、カサゴ・メバル類	16.4トン	196%	123%	27.3kg	147%	146%

※ 平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業の CPUE は 1 経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約 20 年に 1 回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり〇〇」：約 10 年に 1 回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや〇〇」：約 4 年に 1 回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約 2 年に 1 回の出現確率である±0.5℃程度の高さ